ない前提で行っている。⑦検討したい。

機構改革は　能率的な行政に

E議員　行政改革について
①町長の公約や他で発言されている行政改革に対する町長の考え方と取り組みについて
河内町長　①町民から信頼される町政の実現を目指すため、情報公開条例の制定や組織、機構改革の検討を行いたい。
E議員　②機構改革は、具体的にどのようにするのか③国会で今年度中に情報公開法が成立すると思われる。情報公開条例は、町長の公約の目玉であるので、国会に先駆け施行してほしい④県からの指導を含め情報公開制度の考え方について
河内町長　②実務担当者からの問題提起を総合的に整理して、能率的な行政が執行できるような体制を考えたい③平成10年4月に施行出来るよう努力したい。
小林総務課長　④町民参加の町政が推進されるには、知りたい情報がいつでも提供され、町民が行政に関し十分認識を持つことが重要であると考える。また、県からは平成10年4月1日施行が間に合うようにと指導があった。

町の財政力は　ニーズに答えられない

E議員　財政改革について
①基金運用の考え方について②財政力増進、増強に対する町長の方針について
河内町長　①基金条例に則り十分実施事業の内容を精査し、適切な運用に努め財政状況や将来計画を見ながら積立を適宜実施したい。②様々な行政需要に対応するには、財源が不足しておりニーズに答えられないことも現実であるため、経費の節減や削減について一層努力したい。
E議員　③基金の運用基準と運用先の決定基準について④町を健全経営するには、どの程度の財政力が必要なのか
小林総務課長　③財政調整基金を除き、基金は目的を持って積み立てているので、運用先は目的に応じて充当し、予算議決を得て執行している。④基金からの繰入額は、平成8年度3億7千万円、9年度4億6千万円であるので、5億円以上と考える。
E議員　⑤基金運営の運用基準と運用先の決定基準がないのであれば、早急に基準を定めるべきと考えるがどうか⑥財政力の具体的数値を持って、行財政改革を進めるべきと考えるがどうか
河内町長　⑤検討したい。⑥今年度末に検討を重ね、調整を図りたい。

河川公園線は　国道8号拡幅事業を見て

E議員　道路整備について　①河川公園線の整備計画について②河川管理用道路整備計画について
河内町長　①河川公園線は、国道8号の迂回路として計画してきたが、国道8号の黒埼拡幅事業が進んだ段階で、検討したい。②町道善久河川公園線の堤防側からふるさと村までは、平成9年度と10年度で整備終了予定である。
E議員　③国道8号は、道路幅が狭く、右折帯が無いため交通事故が多発している。人命の尊さを考えると、国道8号の早期改良に繋がる河川公園線の整備は、最も緊急性の高い路線と考えるがどうか④河川公園線の工事経過と今後の計画について
河内町長　③国道8号は現在、建設省が整備を行っている。また、幹線である新潟寺泊線の大野大橋工事などが優先されると考える。
高井建設課長　④平成大橋下線の道路改良工事は、平成8年度から事業着手しているが、河川公園線は、国道8号黒埼拡幅事業の交通対策協議の時点で整備計画を検討したい。
E議員　⑤国道が益々混雑している状況をどう考えるのか
河内町長　⑤建設省に働きかけたり、幹線の整備を県に要望したい。

南部地区の土地利用は　都市と農業の調整が必要

E議員　南部地区の基盤整備について　①土地利用方針を提示してほしい②工業系、商業系、住宅系の用地に関する町の考え方について
河内町長　①自然環境や農業用地の保全整備を図るため、都市的土地利用と農業的土地利用の調整が必要と考える。②黒埼南インター計画の実現のなかで検討したい。
E議員　③農村集落における住環境整備の改善を行い、農村の活性化を図るべきと考えるがどうか
河内町長　③南部地区開発構想検討会等の意見を尊重して進めたい。
E議員　④新潟大外環状線や黒埼南インター構想で、21世紀を踏まえた計画にするべきと考えるがどうか
鳴海都市計画課長　④新潟都市圏の地域拠点の役割が実現するような計画を考えたい。
E議員　⑤町を北部、中部、南部と分けた場合、不均衡の発展開発と見られるが、南部地区の基盤整備について
河内町長　⑤鋭意努力したい。

道路のバリアフリー調査は　今後の指針

F議員　道路行政について　①町の基幹道路整備の今後の計画と財政的見通しについて②北陸自動車道の東西側道の整備計画について③新幹線軌道敷の東西側道の整備計画について
河内町長　①平成7年度に黒埼町基本道路網計画検討調査を行い将来の道路整備計画の検討を行っている。これを基本に、国、県道や財政計画との整合性を図りながら検討したい。②③道路計画全体のなかで計画したい。
F議員　④4m幅員の町道の今後の改修計画と財政的な見通しについて⑤高齢者、障害者にやさしいバリアフリー（段差のない道路）調査の有無について⑥北陸自動車道や新幹線側道の整備計画を明確にしながら、横ラインの計画を考えてほしい
高井建設課長　④幹線道に主体があるので、十分検討したい。⑤国道8号大野地区を中心とした調査を建設省、自治会、福祉関係者と行った。今年度中、まとまれば今後の指針として参考にしたい。⑥具体的には、縦貫道として鳥原寺地線と須上線、横線としては小新インターアクセス道路、塩俵ルートと事業主体を見極めながら検討したい。
F議員　⑦財政的見通しはどうなっているのか⑧北陸自動車道と新幹線軌道敷の東西側道の現況と今後の展開について
河内町長　⑦町単独では、難しい状況であり検討したい。
高井建設課長　⑧現在、北陸自動車道側道の東側は町道11路線3213m舗装率88%、西側は町道12路線5211m舗装率99%。新幹線軌道敷側道の東側は町道7路線1632m舗装率84%、西側は町道2路線7300m舗装率53%。今後は道路計画全体のなかで検討したい。

町長公約の進捗状況は　誠心誠意で行う

F議員　町長の公約について
①5本の柱の進捗状況について
河内町長　①就任してから4カ月と間もなく、一朝一夕にできる事業でないので、議会と協調をしながら公約の実現に向けて誠心誠意行いたい。
F議員　②福祉行政上の住宅改修助成事業は、新潟市との合併のことを考え、格差がないように早急に実現してほしい
河内町長　②スウェーデンでは、機材器具、看護婦の派遣などの福祉行政が進歩しているので寝たきり老人がいないと聞いている。そういう行政のあり方で取り組まなければならないと考える。
F議員　③南インターと大外環状線について
河内町長　③担当課で推進すべく努力している。

職員の意識は　景気を肌で感じていない

F議員　行、財政改革について
①国を始め多くの自治体が行政、財政改革に取り組んでいるが、当町の考え方について
河内町長　①限られた財源のなかで、経費の節減、合理化に努め、施策の選択、財源の有効活用など簡素で効率的、効果的な配分を目指し、節度ある財源運営を基本とし、財政の健全性の確保及び住民福祉の向上に努めてきた。また、行政改革大綱に基づき情報公開条例の制定、組織、機構改革を検討したい。
F議員　②消費税率アップに伴う交付金額及び交付率について
③健全な町政発展のため、今後5年間の財政計画を立てる必要があると考えるがどうか
河内町長　③十分考えていきたい。
小林総務課長　②消費税5%の内1%を地方消費税交付金として都道府県が10分の4、市町村が10分の6となり、当初予算で、6500万円を計上した。
F議員　④組織の統廃合ばかりでなく、職員の意識が大切と考えるがどうか
河内町長　④公務員は、経済変動があっても安定した立場であるので、景気を肌で感じていない。厳しい財政の認識、気持ちを引き締め頑張るという姿勢を指導して行きたい。

都市計画税は　住民の理解を得て

F議員　都市計画について　①新潟都市圏域における基盤整備方針について
河内町長　①新潟市を中心とした一体的な都市圏中心部を形成するため、都市機能の集積を図り、良好な都市環境形成を図るとされており、近隣市町とを図りながら検討したい。
F議員　②住民要望のアンケートで多いのが公園である。南部、中部、北部と分けた中で、街区公園の計画は第4次総合計画と関連してどうなっているのか
高井建設課長　②土地利用計画が定められ、幹線道が整備されている場所となると、北部と南部地区の計画が必要と考える。
F議員　③街区公園の適切な規模はどの位か④土地利用の観点から都市計画税を考えたらどうか
河内町長　④介護保険を目前に控え税の増額が予想されることから、住民の理解を得ながら判断したい。
高井建設課長　③公園の基準では、街区公園は、2500㎡以上、北部、中部、南部と大きい地域の場合、地区公園となり4ヘクタール（4万㎡）以上の土地に公園を設置することとなる。

黒埼町特産館の現況は　ふるさと村地ビール館

F議員　株式会社黒埼町特産館について
①現況と今後の見通しについて②町からの貸付金の返済について③役員人事について
河内町長　①平成8年10月、新洋技研工業㈱と建物賃貸借契約を締結し、平成9年5月から新潟燦地麦酒として地ビールの製造、販売、レストラン営業を開始した。今後、ふるさと村と一体となり地ビール館として当町に定着できるよう願っている。②平成9年3月現在、貸付金2500万円の内、違約金14万2100円を含み1014万2100円の納入となっている。③6月19日、取締役社長に高橋勝人氏、取締役に河内直史他5名、監査役に高橋喜一氏他1名が選任された。
F議員　④特産館と町の関わりについて⑤特産館最大株主としての町の義務と責任について⑥取締役の職務について⑦現在のテナントについて⑧前テナントの債務について⑨町として特産館に人材を派遣する考えはないか
河内町長　④⑤町が、44%という出資をしている状況で責任があると考え、取締役になった。⑥特産館の立場でなくテナントの立場で集客を図りたい。⑦ビール製造の機械を製造し、全国的に販売し急成長した会社。⑨職員派遣は考えていない。
土田企画商工課長　⑧平成8年11月の時点では、1057万8821円となっているが、最終的には債権債務の相殺で算出する。
F議員　⑩町長選挙の時に国道8号でビールを売るのはいかがなものかとあったが、認識を変えられたのか
河内町長　⑩飲酒運転に繋がるアルコールの提供はしないようお願いした。

広報くろさき 平成9年8月号